

アジアの畜産動物 – 未来への資金提供 2022年度 関心表明 (EOI) 申請書類及びガイダンス

注意事項

*添付の申請書類へのご記入前に、下記のガイダンスをよくお読みください。

Compassion in World Farming (CIWF) について

Compassion in World Farmingは世界をリードする畜産動物福祉の組織です。私たちは工場式 畜産がこれまでのところ 地球上の動物虐待の最大の原因であると思っています。そして私たちはその終焉のために全力を尽くしています。

工場式畜産や、工業的に生産された肉の過剰消費を止めることによって食料システムを変えることは、気候変動を遅らせ、自然崩壊を食い止めるのに大いに役立つ可能性があります。それはまた、動物の福祉と人々の健康にも利益をもたらします。

1960年代にイギリスで設立されて以来、Compassion in World Farmingは世界中の数十億の畜産動物の生活を、それまでとは違ったものにしてきました。私たちはヨーロッパの各地で、またアメリカや中国でも活動しています。

しかし私たちは、この活動をさらにアジアに拡大することを目指しています。そうすればみなさまの組織は私たちと共に、畜産動物福祉の最前線に立つことができるでしょう。

私たち2つの重要な戦略目標に向かって取り組んでいますが、その目標を達成するには、アジアのいたるところでさらに活動する必要があります。工場式畜産を終わらせるために世界的な合意を得て、ケージ農業のない世界を作るためのキャンペーンは、日本、インドネシア、韓国からの出資者や組織を必要とします。私たちは、アジアの畜産動物福祉の将来像となるために参加してくれるすべてのタイプの組織をさがしています。

現在、全世界の農業と食料システムは、森林破壊、土地利用の変化、土壌の劣化、生物多様性の喪失、水の過剰使用と汚染、温室効果ガス(GHG)の排出をもたらしています。多くのNGO（非政府組織）や個人は、すでにこれらの気候変動と生物多様性の喪失問題に集中的に取り組んでいます。私たちは、その使命をより大きなものにしようとしているあらゆるグループや個人を、いつでもサポートしたいと思っています。この取り組みには、集約畜産がこれら全ての問題において与える悪影響に対処することも含まれます。

CIWFアジアの畜産動物：未来への資金提供プログラムとは何か？

アジアの畜産動物：未来への資金提供

工場式畜産を終わらせる方法：

- 動物に苦痛を与えるような畜産方法を変える；
- 与える植物はより多量に、肉は良質でより少量にするよう、常用飼料を変える；
- フードシステムを、より自然と調査しているものに変える。

工場式畜産を終わらせ、ケージ農業のない世界への世界的な合意を得るために必要なこと：

- アジアにおける畜産動物福祉運動の発展。私たちはアジアにおいてネットワークと新しい関係を築きたいと思っています。世界中の畜産動物のための、私たちの目標を達成するのに力を貸してくださいようお願いします。
- 私たちが最初に重点的に取り組むことは、あらゆる種類の畜産動物の生活を改善しようと活動している、あるいは活動したいと思っている団体を支援することです。少し例を挙げれば、採卵鶏、ブロイラーの若鶏、食用豚、食用牛、養殖魚などです。

助成金

どのような助成金の利用が可能で、申請可能な目的や金額は？

2022年、私たちは、地域の畜産動物福祉の改善に尽力されている機関に異なる3つのタイプの補助金を提供します。

：

- 最大で 4,000米ドルの**研修補助金**
- 最大で7,000米ドルの**組織開発補助金**
- 最大で9,000米ドルの**キャンペーン補助金**

1. 最大4,000米ドルまでの研修補助金

Compassion in World Farming International の研修補助金は、インドネシア、日本、および韓国において、可能性を広げたい、あるいは畜産動物のために支援ができるよう第一歩を踏み出そうとする、個人および機関を支援することを目指しています。

私たちは、インドネシア、日本、および韓国における研修補助金の申請を歓迎します。テーマは家畜福祉に関連する幅広い分野にわたって適用されます。以下に例を挙げます。

- ・家畜の知覚力と福祉
- ・工場式畜産の影響
- ・ロビー活動、宣伝およびソーシャルメディア
- ・キャンペーン計画
- ・変革の理論

この補助金は研修の運営費（トレーナー、開催地、資材を含む）および個人の参加にかかる費用（交通、宿泊）をまかなえるものとします。

2. 最大7,000米ドルまでの組織開発補助金

Compassion in World Farming International の研修補助金は、インドネシア、日本、および韓国における、畜産動物のために支援運動をする力を確立、拡大する、個人および機関を支援することを目指しています

私たちは、インドネシア、日本、および韓国における組織開発補助金の申請を歓迎します。みなさまがサポートを必要とする領域は幅広い要件に及びます。以下に例を挙げます。

- ・ 変革の理論
- ・ 組織の見直し
- ・ 組織の登録あるいは設立に関するガイダンス
- ・ 事業計画
- ・ 資金調達戦略
- ・ コミュニケーションおよびデジタル・プレゼンス
- ・ 経理および財政 計画

3. 最大9,000米ドルまでのキャンペーン補助金

Compassion in World Farming International の研修補助金は、インドネシア、日本、および韓国における、地域や全国的な統治機関、あるいは地方自治体の支援運動をする費用をまかなうために、個人および機関を支援することを目指しています。

私たちは、ロビー活動や提唱によってさせられた草の根活動の底力を通して、政府や地方自治体の政策にまで関わられるようになる活動をすることで、畜産動物の生活を改善することから着手していきます。

アジアにおける畜産動物：未来への資金提供プログラムに応募可能なのは誰か？

応募者は：

- 畜産動物愛護、動物愛護、気候変動、環境保護などの分野で活動するまたは畜産動物の福祉を改善するための最初のステップを取ろうとしている個人、慈善団体、非営利団体でも可能。
- インドネシア、日本、韓国で活動している、または活動を予定している。
- 理想的には、インドネシア、日本、または韓国に登録住所がある（別の国で登録しているがこれらの国で活動している応募者も考慮される）。
- EOI申請後に最終候補に挙げられた場合、提案依頼書の段階（RFP）で、CIWFが実施するデューデリジェンスのプロセス（該当する銀行取引明細書や、関連する財政的な口座や照会等のみならず、身分証明書や有効な登録証明書/ガバナンス文書を含む法的ステータスを証明するための文書を提供することなど）に従う意思があること。
- 理想的には活動している国のチャリティー委員会、全国慈善登録、慈善規制委員会または同等のもの（慈善または非営利団体組織のみ）に登録済または登録予定。
- 助成金の支払いが可能な（申請者または申請組織の名前で登録された）銀行口座を保有していること。

- 助成金の使途、活動、インパクトについて報告書を提供する意思がある。
- CIWF とその助成金使途についての報告に関する条項、条件を 遵守する 意思がある こと。

アジアにおける畜産動物：未来への資金提供は何に対して助成するか？

- 個人や組織がより高い畜産動物福祉を促進し、畜産動物の生活変化に携われるようなプロジェクトとプログラム
- 講師の雇用、会場借用、機材費等を含むトレーニング活動。
- スタッフの給与、事務局経費、事業運営費、非資本財や設備費。
- 畜産動物福祉のより高い水準を推進し、取り上げ、教育するキャンペーン活動。

アジアにおける畜産動物：未来への資金提供は何に対して助成しないか？

- CIWF は助成金が畜産動物福祉に直接的に関わる活動ではなく、政治的 また宗教的 目的のものに使われる場合には申請を受け付けない。
- 助成金は、事前にCIWFからの合意を得たトレーニングや活動の実施のための国際的な渡航以外のためには使用されない。
- 助成金はローンや借金返済のためには使用されない。
- 助成金は一つにつき 5,000米ドル以上の資産の取得のためには使用されない。
- 助成金は再助成の目的のための資金には使われない。

助成金の申請プロセスは？

ステージ 1 - (EOI) 関心の表明 (EOI 申請書の提出)。

ステージ 2 - (RFP) 企画書の要求 (EOI 応募者うち最終候補者のみ)。

ステージ 3 - 助成金の授与 & 支払い (RFP 応募者のうち選考通過者)。

どのようにCIWF アジア助成金は審査されるか？

申請書は EOI およびRFPステージともにスコアリングマトリックスを使用して審査される。

スコアリングの主なポイントは以下の通り：

- 資金提供の分野。例えば、 トレーニング/組織開発/キャンペーン。
- 事業計画 と目的。
- 助成金のインパクト及び事業の持続可能性。
- 事業の財政。

いつどのように助成金が提供されるか？

これは2022年末まで実施される助成金プログラムです。助成金は、スコアリングマトリクスにおいて最高得点を獲得し、助成金マネジメントチームによって承認された申請者に授与されます。申請書の提出から全てのスコアリング審査終了まで8～12週間かかることをご了承下さい。

審査とスコアリングに続き、なるべく早く、助成対象者は申請の結果を通知され、助成金契約締結の段階へと進みます。助成金の授与は銀行口座への送金によって行われ、助成対象者は助成金契約の中の特定の規約にのっとることを求められます。

応募者は一年に一つ以上の応募が可能か？

はい、応募者は1つ以上の助成金に異なる事業や研修テーマで応募可能です。

資金提供を受けたプロジェクトはどのようにモニタリングされるか？

助成対象者はCIWFに2つのレポートを提供する必要があります。中間および最終報告書（研修助成金の対象者は最終報告書の提出のみで結構です）。

中間報告は通常、プロジェクトの半分の時期、またはお互い合意した時期に提出されます。

CIWFは簡単な助成金のインパクトと評価の統計情報を得るため報告書の様式を提供する。最終報告書は助成金活動終了直後、またはお互いに合意した時期に行われ、2023年1月までに実施される。

CIWFは、また助成金のインパクトと評価の詳細取得のため、報告書様式を提供する。

(EOI) 申請の締め切り日は？

2022年9月30日までEOI申請を受け付けています。あなたの企画書を計画するのを助けるため、8～12週間は申請書の提出からすべてのスコアリングと審査プロセスが終了するのに要します。助成金は、受付順に授与され、CIWFはすべての助成金の割り当てが終了次第プログラムを終了します。。

EOI 応募者は応募に対するフィードバックを受けられるか？

はい、の上リクエスト応募者 できるEメール：fundingthefuture@ciwf.org

未来への資金提供プログラムの主なスケジュール

アクティビティ
CIWFアジアにおける畜産動物：未来への資金提供の開始 2021年3月 – 関心表明の申請 (EOI) 受付開始
EOI申請がスコアリングされ、審査される。応募者はEOI申請書の結果を通知される
最終選考に残った EOI 応募者 のみ、企画書の要求 (RFP) の段階に進む
RFPの提出
CIWF 助成金管理 チームによって企画書の審査とスコアリングが行われる
応募者に結果が通知 される- 助成対象者は助成金契約を締結する
助成対象者の銀行口座に最初の助成金の入金が行われる
助成によるプロジェクトの開始
中間報告書の締め切り
助成対象者の銀行口座 (キャンペーンと組織開発助成金のみ) に2度目の助成金の入金が行われる
最終報告書の提出

サポート

もしあなたが関心の表明の申請書を記入するのにサポートが必要であったり、アジアにおける畜産動物：未来への資金提供プログラムについての一般的なお問い合わせがある場合には下記の連絡先にメールを送ることをためらわないで下さい。 fundingthefuture@ciwf.org

申請に興味がありますか？

資格基準を満たし、アジアにおける畜産動物：未来のための資金提供プログラムによるサポートを希望する場合：EOI 申請書を記入することをお願いします。

もしも あなたの申請書が最終選考に残り、次のステージに進むことを招待するメールを通知された場合、より詳細な企画の説明を提出し、助成金を何に使い、明細の詳細や関連する書類の提出が求められます。。

その後、企画が審査され、CIWF助成金管理チームによって審査された助成金受領者は結果を通知されます。うまく助成対象者になった場合にはCIWFと助成金契約を締結することになり、その後、あなたの銀行口座に最初の入金が行われ、プロジェクトが始まることになります。

申請がうまくいきますように！そして、あなたがサポートを必要としていたり、質問がある場合にはフレンドリーなCIWFの助成金管理チームに連絡することをためらわないで下さい！